

【本日の説教アウトライン】 第四の目的：奉仕

他の人に仕えることによって神に仕える

「人の子が来たのが、仕えられるためではなく、かえって仕えるためであり、また、多くの人のための、贖いの代価として、自分のいのちを与えるためであるのと同じです。」マタイ20:28

イエスの仕え方を模倣する

●**イエスのように仕える方法：すぐに行動できる準備ができています**

あなたに財産があるとき、あなたの隣人に向かい、「去って、また来なさい。あす、あげよう。」と言うな。箴言 3:28

a) **できない理由：自己中心**

ピリピ2:4 自分のことだけではなく、他の人のことも顧みなさい。

b) **できない理由：完璧主義**

伝道11:4 風を警戒している人は種を蒔かない。雲を見ている者は刈り入れをしない。

c) **できない理由：物質主義**

ルカ16:13 …あなたがたは、神にも仕え、また富にも仕えるということはいけません。

●**イエスのように仕える方法：感謝する心を持つ**

ヨハネ11:41, 42 イエスは目を上げて、言われた。「父よ。わたしの願いを聞いてくださったことを感謝いたします。わたしは、あなたがいつもわたしの願いを聞いてくださることを知っておりました。

a) **できない理由：比較と非難**

ローマ14:4 あなたはいったいだれなので、他人のしもべをさばくのですか。しもべが立つのも倒れるのも、その主人の心次第です。

b) **できない理由：過った動機付け**

マタイ6:1 人に見せるために人前で善行をしないように気をつけなさい。そうでないと、天におられるあなたがたの父から、報いが受けられません。

●**イエスのように仕える方法：忠実であること**

ヨハネ17:4 あなたがわたしに行なわせるためにお与えになったわざを、わたしは成し遂げて、地上であなたの栄光を現わしました。

1コリント15:58 ですから、私の愛する兄弟たちよ。堅く立って、動かされることなく、いつも主のわざに励みなさい。あなたがたは自分たちの労苦が、主にあってむだでないことを知っているのですから。

ヘブル6:10 神は正しい方であって、あなたがたの行ないを忘れず、あなたがたがこれまで聖徒たちに仕え、また今も仕えて神の御名のために示したあの愛をお忘れにならないのです。■

【今週の暗唱聖句】40日の旅／第五週 奉仕 第一ペテロ4：10

それぞれが賜物を受けているのですから…

その賜物を用いて、互いに仕え合いなさい。

私たちは生まれる前から神さまによって様々な性格や特徴を与えられ、好き嫌い、得手不得手等が与えられています。さらに、クリスチャンになり、それぞれに異なった御霊の賜物も与えられます。なぜでしょうか？それは一人一人が異なった能力と賜物とを出しあって、神の栄光を現わすためなのです。現代社会は「自分の能力を最大限引き出して輝け！あなたもスーパースターになれる！」とでも言うかのごとく、賜物を自分の栄光のために用いることに躍起です。生きるとは如何に100%、自分を他者のために使い切って行けるか？かすを残さずに如何に完全燃焼できるか、ゼロになれるか、なのです。■

【祈りに関する学び（5）】

パウロの祝祷から学ぶ（エペソ3：16～19）

どうか父が、その栄光の豊かさに従い、御霊により、力をもってあなたがたの内なる人を強くしてくださいますように。

こうしてキリストが、あなたがたの信仰によって、あなたがたの心のうちに住んでいてくださいますように。

また、愛に根ざし、愛に基礎を置いているあなたがたが、すべての聖徒とともに、その広さ、長さ、高さ、深さがどれほどであるかを理解する力を持つようになり、人知をはるかに越えたキリストの愛を知ることができますように。

こうして、神ご自身の満ち満ちたさまにまで、あなたがたが満たされますように。

先週もエペソ書の祝祷を見たが、エペソ書にはもう一ヶ所、パウロが突然祝祷に入ってしまうところがある。それが3章16～19である。この箇所注目したいのは「真の強さ」である。精神／霊／魂の筋肉が、強く、柔軟でしなやかで、持続力がある、というのはどういう状態であろうか。それはまさにイエスの性質が自分のものとなることである。クリスチャンは勿論神の前では「弱い者」で在りつづけるのだが、神と共に歩み続け、神の愛に満たされ、神の視点が与えられていく時、真に強い女、強い男になって行くのである■

